

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2019年2月18日公開
(日本時間2月18日午後1時～=イスラエル時間2月18日午前6時～)

皆さん、シャローム。イスラエルのガリラヤよりおはようございます。アミール・ツアルファティです。これから、中東時事アップデートを始めます。では、お祈りから始めましょうか。

お父様。朝、息をしながら目覚めた事に感謝します。これも、当たり前的事ではありませんから。お父様。私と、世界中に住む私たち全員に、この人生を全うする特権と、あなたが全てを支配しておられるという希望を与えてくださったことを、感謝します。

お父様。あなたの御言葉に感謝します。御言葉は真実ですから。どうか、このアップデートを通して、私たちをあなたの真理で清めてください。

あなたをあげ、あなたに全ての栄光をお返しします。イスラエルの聖なる方、私の住む場所からほんの8km離れた場所でお育ちになった方、世に光をもたらしてくださった方、闇に支配されていたあの地域に、^{まこと}真の光をもたらしてくださった方の御名によって。

2000年前、あの地域に光が照り、今日、その光を、私たち全員が担っています。

イエスは、私たちは世の光だと言われました。

ですからお父様。今日、このアップデートの間も、また、何であれ、私たちが行う全てを通して、私たちが闇ではなく、光となりますように。

私たちを通して、あなたの光を輝かせてください。あなたに感謝し、あなたを祝福します。イエスの御名によって。アーメン。

皆さん、シャローム。イスラエルのガリラヤより、おはようございます。アミール・ツアルファティです。今日、みなさんとうこうしていただけることを、とてもうれしく思います。

今は、イスラエル時間で月曜日、ちょうど午前6時です。南アジアの皆さんは、もう、仕事に行っていますね。オーストラリア、ニュージーランドは、すでに月曜日の日中です。アメリカの西海岸は夜の8時、東海岸の人には、夜の11時と遅くなって、申し訳ございません。ただ、アメリカの日曜の礼拝を妨害せずに行うには、これしかなかったのです。

さて。先週、多くのことが起こりました。

まずは、アメリカが主催したワルシャワ会議について、お話ししましょう。イスラエルは、^{しゅひん}主賓でした。皆さんも、記念写真をご覧になれるが、ネタニヤフが前列の真ん中において、マイク・ペンス副大統領と、ポンペオ長官、それとももちろん、主催国であるポーランドの首相が一緒です。以前も言いましたが、この会議の場所は、2つの理由のために、アメリカの政権によって、慎重に選ばれました。



ワルシャワで開かれたアメリカ主催の国際会議

1つは、元はワルシャワ条約の首都であったポーランドのため。ワルシャワ条約は、ソビエトがNATOへ対抗のために作ったものですが、今、彼らは、NATO、西欧諸国にとって、非常に重要であるということ、彼に感じさせるためです。

それから、また、欧州連合にとっても大打撃になります。ポーランドは、ヴィシエグラード4カ国の一員で、それについても、後ほどお話ししますが、これは、ハンガリー、ポーランド、チェコ共和国、スロヴァキアからなる協力機構です。そして彼らは、欧州連合で反撃している4カ国なのです。彼らは、欧州連合の移民政策に反対し、欧州連合の反イスラエル政策にも反対しています。彼らは、非常に親イスラエル派です。事実、後でお話ししますが、ヴィシエグラード4カ国は、初めて、その年定例会議を、ここイスラエルで行うのです。

ですから、先ほども言いました通り、あの場所が、慎重に選ばれ、これが、すごかったのです。なぜかといえば、よく見てみると、私は、これについて4日前にツイッターで投稿していますが、——皆さん、本当に、私のツイッターを登録してください。ただアップデートしているだけでなく、私は、ものごとが起こっている最中に投稿していますから。

ともかく、ジャレッド・クシュナーが、あそこに座っていて、彼の後ろには、「中東に平和と安全を」と書かれていました。もちろん、第一テサロニケ5章が思い浮かぶわけですが、

3 人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。

(第一テサロニケ5:3a)

ただ、現在、中東の和平プロセスを再熱させようとする勢力があるようです。しかし、初めて、パレスチナが主賓ではなく、中東の平和は、イスラエルと周辺のアラブ諸国との関係改善から始まる、ということに皆が合意したのです。素晴らしかったのは、ネタニヤフ首相が演説を行い、アラブ人の誰一人として、退席する者がいなかったのです。実際、彼らは、彼の話聞くために、はるばるやって来たのです。そして、閉ざされた中で、イエメン、サウジ、クウェート、バーレーン、その他を含む、外務大臣全員があそこにおいて、

その全員が、あの場で、彼らが犯した最大の間違いは、パレスチナとイスラエルの対立を中東最大の問題として優先し、そのためにイランのペテンを無視して来たことだと同意しました。

今は、イランが蝸たこのように、すでに中東全体に手を伸ばし、彼ら自身の政権を妨害していることを、全員が理解しています。したがって、今は彼らも、イスラエルがずっと言っていたことを理解しています。

イランが最大の問題で、パレスチナとイスラエルの対立に対応する前に、あちらを対処しなければならない。その理由は、とてもシンプルです。イランがあそこにある限り、イランは継続して、パレスチナを駆り立てて、イスラエルからは何も受け入れないようにさせます。イスラム聖戦主義も、ハマスも、革命防衛隊から直接資金提供を受けています。そのため、彼らは、将来的にも、イスラエルが、パレスチナと調印するものには、一切合意しません。したがって、それについて話をする前に、目を開いて、中東の現実を見ようじゃないか、まずは、イスラエルが存在することは、誰にも無視出来ない、エルサレムは、イスラエルの首都である、それは無視出来ない、と。それから、イランはイスラエルを根絶し、占領しようとしている。それも、イスラエルだけでなく、中東全体を。これが事実です。そして今、ようやく彼らはそれを受け入れ、理解しました。そのため、非常に、ものすごく驚くべき形で、アラブ諸国がイスラエル側に傾き始めているのです。パレスチナは、この会議に来もしませんでした。彼らも「中東の平和と安全」の一部ではありますが、彼らは、来ることすらせず、彼らは、この会議の一員であることを拒みました。そして彼らは、アラブ人たちが、イスラエルと共に座して、イスラエルと話し合っているのを見てショックを受けました。パレスチナ問題が全く解決もしていないのに。

皆さん、これは、ものすごい事を目に見ているのです。なぜかと言えば、いつでもエゼキエルの預言を見れば、イスラエルに対する攻撃は、確かに過激派イスラム諸国から来る事は明白です。しかし、そのどれ一つとして、アラブではないのです。

皆さん。リビアやスーダンといった、アフリカ諸国、それから、トルコやイランです。彼らは、アラブではありません。エゼキエルの中に登場するアラブは、シェバとデダンでサウジアラビア、アラブの中でも大きな部分を占め、実際彼は、イスラエルへの攻撃を批判します。ですから、現在、私たちは、中東で歴史的に大きな出来事が起こるのを目にしているのです。イスラエルが誕生したその日から、我々の最大の問題は、いつもアラブ界からのものでした。軍事的だけでなく、アラブは、あらゆる面からイスラエルを攻撃していたのです。国連での働きや、それから、我々を攻撃させるために、テロリストに資金提供したり、我々に協力する国々をボイコットしたり、イスラエルを助けるものには、石油貿易を停止するなど、それら全てが、なくなったのです。

皆さん、アメリカは、もうサウジの石油は必要ありません。ヨーロッパも、サウジの石油はもう必要ありません。従って、彼らのその欲望はもうないのです。そして、彼らは自身の存続のために戦わなければならないことを理解しています。彼らはイランと戦い、自分たちの安全と保証を保つために、何であれ、イスラエルが提供し得るものにしがみつくなければなりません。信じ難いかも知れませんが、アラブ人たちは自分たちを守るために、イスラエルから武器や防衛システムを買うことに関心があるのです。彼らは、もはや、イスラエルを敵として見ていません。事実、イスラエルは、彼らが本当の敵であるイランから自身を防衛するのを助けているのです。そして私は、これは、ものすごい事だと思っています。なぜかと言えば、聖書で預言を見るたびに、アラブが終わりの時に、イスラエルに攻め込む戦争の一員であるとは見えませんでしたから。

むしろ、私たちが知っている通り、最終的には平和があって、エジプトからもアッシリアからも、イスラエルへの大路が出来るのです。(イザヤ書 19 章参照) これらは、その世界との平和を特徴づけていて、戦争ではありません。

では次に、ワルシャワ会議が行われていた最中に何があったかを説明します。

ワルシャワ会議はもちろん、流れを変えるもので、パレスチナもイランも、さらにトルコとロシアでさえ、自分たちは、間違っただけにしていることに気づきました。

さて、あの会議が行われている間、ソチで、興味深い会談がありました。

黒海の美しい小さなリゾートタウンで、あらゆる問題からかけ離れた、非常に安全で守られた町です。そこに、ウラジミール・プーチンが、イラン大統領のロウハーニーと、トルコの大統領エルドアンを、招待しました。これが、面白いと思いませんか？彼らは、シリアについて話し合うのに、シリアの大統領は、招待すらされていないのです。彼は、脇にも置かれませんでした。彼は、自分の国で起こっていることに、一つも加われないのです。

そして、非常に興味深いのが、一つのことを、明白に分かります。



ロウハニ（左）プーチン（中央）エルドアン（右）

彼ら全員が、一つのことをハッキリと理解していて、それは、シリアが、アラブではなくなるということ。こんにち、彼らの名前は、シリア・アラブ共和国ですが、この“アラブ”が、もうなくなるのです。彼らは、シリアに、新しい名前を付けようとしているのです。

信じ難いでしょうが、彼らは、3つの異なる名前を見ていて、ロシアがつけたい名前、それから、トルコがつけたい名前、それとももちろんイランがつけたい名前です。彼らのそれぞれが、それぞれの利益になるように、異なる部分を強調しています。

しかし、1939年、チェコスロバキアが、ナチスに占領され、食い尽くされるのを世界がただ見ていたように、一ミュンヘン協定があって、文字どおり戦争することなく、チェコスロバキアを分断しましたが、世界は、チェコスロバキアが食い尽くされることを何とも思っていなかったように、世界は何もせず、シリアが、イラン、トルコ、ロシアに食い尽くされることを止めようとしません。

今、私が話しているのは、自身の皇帝としてのステータスを新しくしようとしている、3人の大統領たちです。もちろん、ロシアの大統領は、彼の計画を隠しもせず、彼は、すでにジョージアを占領し、東ウクライナとクリミアを占領していますが、世界は、一切何もしません。それから彼は、すでに、東ヨーロッパのバルト海沿岸諸国に目をつけていて、皆が、それに向けて備えをしています。もちろん、NATOは、何かをすると、少々圧力をかけていますが。これがまさに、ワルシャワでこの会議が行われた、もう一つの理由です。

ウラジミール・プーチンに、ワルシャワ、ポーランドは、すでに西側諸国の一員である、取り戻すことは出来ない、と告げるためです。

もちろん、エルドアンはイスラムとして、それから帝国としての両方の側から、オスマン帝国の再開を狙っています。

もちろんイラン政権は、アラブ諸国をシーア派に変えることを狙っています。そして彼らは、ある程度部分的にイラク、イエメン、レバノン、シリア国内ですでに成功しています。

ですから、見ての通り、彼らの次の舞台は、彼らの家のすぐ周辺のペルシャ湾諸国を覆すことです。そして、第一に脅かされる国は、バーレーンです。

バーレーンは、シーア派が過半数ですが、スンニ派の指導者によって、支配されています。

そのために、バーレーンは、現在、どんどんイスラエルに近づいているのです。バーレーンの外務大臣が、次のように言いました。

「イスラエルとパレスチナの対立は、現在の中東の、主要な問題ではない。主要な問題は、イランだ。」
バーレーンは、彼らがイスラエルの味方にならない限り、次は、自分たちがイランの餌食になると理解しています。

もちろんイランは、皆さんご覧の通り、彼らが40周年記念を祝っている間に、大規模なテロ攻撃を受けて苦しみ、革命防衛隊の兵士が40人以上死亡しました。

そして彼らは、復讐を誓いました。スンニ派パキスタン、それから誰でも、サウジとアラブ首長国連邦に協力するものに対する復讐です。イランは、確実に帝国を創ろうとしています。非常に多くの抵抗勢力があって、それらからの攻撃によって、彼らは疲労しています。

皆さんにお知らせしたいのは、とても面白いことに私たちは、同じテレビ画面を見ていて、そこには、ワルシャワ会議があって、「平和、安全」「平和、安全」とアラブ人たちが、すっかりイスラエル側になびいている。これが、アメリカの指導の下で行われています。もちろん、ヨーロッパも少し加担しています。

そして同じテレビ画面の反対側では、同じ週に、プーチン、エルドアン、ロウハーニーが、彼らの間で、シリアの残りを形作ろうと、策略を練っているのです。もちろん、彼らは、自分たちの次の動きが、イスラエルへの攻撃であることは知りません。

「アミールさん。イスラエルは、ロシアが攻めて来ることを知っていると思いますか？」と、多くの人に聞かれますが、私は、ロシアも今はまだ、自分たちがイスラエルに攻め込むことを知らない、と答えます。私たちは知っています。彼らは、知りません。これは、聖書を理解することの美です。聖書は、神の御言葉を記した書であり、神の御言葉であって、これは、ただの書ではありません。これは、神の御言葉です。つまり神は、その民に彼のご計画を告げられたのです。それから、神が、ご存知であること、人類がこれから行おうとしている事を。

悪は、神によって作られたものではありません。悪は、神と神のやり方に敵対する人々によって作られたのです。第一日目から。そして、今日、私たちが見ている、最も悲惨な出来事は、自然でさえも、洪水が地球を覆ったという事実に関連しています。それは、人類がいつも悪に傾いていて、それが、地球を覆い尽くしたという事実に関連しています。つまり、最初の最初から、神と神の御言葉に敵対する反抗が、悪を引き起こした事を意味します。ところで、それは、ただ明らかになっただけではありません。死とは、葬式でのみ明らかにされる訳ではありません。死は、悪の存在によって、明らかにされます。そして、今日、私たちが目にしていることの多くが、人間の神に対する反乱によって、ダメージを受けたパーフェクトな世界です。

神は、パーフェクトな世界を創られました。ところで、それは、雨すら必要がなかったのですよ？地下の泉が、驚くべき霧となって、地上に潤いを与えたのです。

それが、初めての雨で洪水が起こりました。初めての雨、世界が全く慣れていないものでした。しかし

神は、もうそれ以上、あの悪を見逃すことが出来なかったのです。

ところで、創世記6章5～6節を読めば、分かります。これは、聖書全体の中で、最も悲しい部分でしょう。私たちがこんにち、世界中で目にしているのは、神が全滅させ、全てをやり直すために、ノアを残されるに至った当時の世界で起こっていたこととは、比べものになりません。

では、名前の問題に戻しましょう。

プーチンは、シリアを“シリア連邦共和国”とする事を望んでいます。その理由は、プーチンはクルド派に自身の領土を持たせ、アラウィー派にも自身の領土を持たせ、スンニ派、シーア派にも、それぞれ自身の領土をもたせて、平和にしたいのです。さらに彼は、シリアのクリスチャンさえ、彼らの自治体が必要だと言いました。だから“シリア連邦共和国”であらねばならない、と。覚えていてください。それぞれの指導者が、自分の国の名前を使おうとしているのです。「ロシア連邦」です。

しかし、皆さんに言うておきますが、エルドアンは、それについては聞きたくもありません。そうすると、クルドが自身の自治体を持つことを意味していますから。彼は、それは望んでいません。事実、エルドアンは、全く違うものを望んでいます。彼が実際に提案したのは「シリア国」です。先ほども言いましたが、“アラブ”という言葉は、ロシアが提案した名前から取り除かれ、“アラブ”という言葉は、トルコが提案した名前からも、取り除かれました。そしてもちろん、彼はスンニ派が良い気分になることを願っています。彼は、スンニ派ですから。しかし、クルドには、いかなる形であれ、独立させたくありません。ところで、エルドアンは、NATOの一員ですが、S-400 防空システムをロシアから購入する決意をしました。このように、彼は、ロシアと親しくしようとしているのです。そしてロシアは、何らかの形で、トルコとの協力関係から、利害を得ようとしています。ロシアは、トルコのことを、NATOの中の、自分たちの味方だと見ているのです。エルドアンを信頼することは出来ません。もしエルドアンが、何かNATOの計画を知れば、確実にロシアに提供しますから。NATOには、トルコという名の第5部隊があって、今、ロシアはその手綱を引いているのです。

しかし、イランは、シリアの名前を、「シリア・イスラム共和国」としようとしています。

「イラン・イスラム共和国」のように。彼らはもちろん、「スーダン・イスラム共和国」「パキスタン・イスラム共和国」というようにしたいのです。彼らは、その例を提案しました。

彼らは、シーア派イスラムの保護者になることを狙っていて、シリアの名前に“イスラム”を入れることによって、イスラムの大義を守ろうとしています。またしても、“アラブ”が取り除かれました。驚きです。

シリア人ではない者たちから、シリアに、3つの名前が提案されていて、彼らがシリアに課そうとしているものは、実際に、“アラブ”という名前が、完全に排除されています。

信じられません。私たちは、中東で信じられないようなことが起こるのを目にしているのです。誰もアラブの大義を気にかけていません。誰もシリア国民のことを気にかけていません。彼らは、シリアを利用して、イスラエルに向かって来ているのです。

これは、ものすごいことです。

ですから、私たちは、いずれ目にするでしょう。先ほど説明した、テレビ画面を覚えていますか？片方では、3人の指導者たちがいて、反対側では、イスラエルが番組のスターです。イスラエルは、ペンス副大統領の隣に立ち、隣にはポンペオと、それから70カ国、30のアラブ諸国の指導者、もしくは外務大臣

たちです。

前代未聞の話です。

そして、ロシアは、見捨てられたと感じ、トルコは、歓迎されていないと感じていて イランは、事実、この会議の原因、理由です。そして彼らは、皆から非難されます。

このように、いずれ、画面反対側のこの3カ国を一致させるものは、イスラエルです。

それが、画面のこちら側では、大きな役割を担っています。

私は、これは、ものすごい事だと思います。

ということで、ワルシャワ会議についてお話しして、ソチ首脳会談についても、あちらで起こっていることとお話ししました。それから、もちろん、シリアの残骸を形作っていくことについて、お話ししました。それが、非常に驚くことに、誰も、イスラエルとの南部国境については語っていません。

ロシアは、シリアのイスラエルとの国境に、彼らは何らかの形で資金援助している、アラウィー派の第5旅団を持ち込もうとしています。

アリエル？

ちょっとすみません。息子に、行ってらっしゃいを言わせてください。

ちょっと待っててくださいね。イスラエル最高の兵士に、声をかけてやってください。



アミールさんのご長男アリエルさん

「ハロー」今から、基地に向かう途中です。6時半ですね。彼は、これから特別会議に向かいます。あと数週間で、軍隊から解放されますから。兵士たちが民間人として生活できるように、援助しています。履歴書の書き方とか、仕事の面接の対応の仕方とか。大切なことです。ともかく、失礼しました。

では、話を元に戻しましょう。

全てお話ししましたね。ワルシャワについて、ソチについて、お話ししましたから、

次は、イギリスで起こったこと、それから、世界中で起こっていることについてお話ししましょう。

気候変動に関してです。

皆さん、現在、新しいトレンドが起こっていて、PC（ポリティカルコレクトのカルト）が、推し進めていること、私は、ずっと言って来ましたから、皆さん、ご存知ですね。

ずっと奏でられている歌の、次の曲は、「気候変動」これは彼らが、世界統一政府、世界統一経済をもたらすために、唯一、頼れる世界的な動きです。それが今度は、もちろん、気候変動です。大富豪一族に

よる、世界統一政府のシステムが、何億、何十億という資金をつぎ込んでいる、最終的に、世界を支配しようとする動きです。彼らは、世界中で、我々の子どもたち全員を洗脳しています。彼らは、世界中で若者のムーブメントを作り出して、気候変動のための集会を開かせ、地球温暖化において、人間が担うべき部分を伝えさせています。

皆さん、私も昔は若者でしたが、16歳以上の若者というのは熱意に燃えていて、彼らに何かを投げかけて、彼らがそれを受け取るなら、彼らはそれに、ものすごく熱狂するのです。

皆さん、理解しなければなりません。私が2日ほど前にツイッターで投稿したのをご覧になったでしょうか。



イギリス全土での生徒たちの気候変動政策のためのデモ

この間の金曜日、イギリス全土で、生徒たちが学校の授業を抜け出して、政府に敵対して、気候変動政策のためにデモを行いました。これまた、新しい緑化協議を見ても分かるように、最もめちゃくちゃな人たちの何人か、私は、彼らは精神的に発狂していると思っていますが、アメリカの議員たちが、今、提案しています。

いいですか？これは、もう、めちゃくちゃどころではありません。妄想に取り憑かれた人たちです。これが興味深いのは、これが履行できないことは、皆が分かっているのです。

しかし皆が、これに関わるのはカッコいいと思っているのです。それを提案するのは、カッコいい、何かのために戦うのは、カッコいい、と。しかし彼らは、自分たちが何に対して戦っているのか、さっぱり分かっていないのです。

私は、ある人に感謝したいと思います。彼の名前は、バリー・サターフィールドさん。

彼と、ペニーは、主を愛する素晴らしい人で、それから、彼はオレゴンのニューホープ・クリスチャンスクールの一員です。基本的には、バリーが私にメールをくれたのですが、彼は、オレゴン州のニューホープ・クリスチャンスクール関係の天文台の元所長で、彼は天文学、宇宙の変化に関して、非常に学識の高い人、地球温暖化においても、非常に高い教養のある人です。

ところで、私は、地球温暖化がないとは、一度も言ったことがありません。私は、地球温暖化を人間のせいにするのは、偽だと言ったのです。地球温暖化は、はるか以前に始まっています。人間が二酸化炭素の使用を増し、大気に排出する、ずっと以前です。

そして、この彼が書いた、地球温暖化に関する、非常に見事な記事を送ってくれたのです。

基本的に、結論は現在太陽の活動が活発だとのこと。太陽活動は、人間の介入や、人間の働きとは全く関係ないということです。

私は、ずっと言っていますが、今の地球温暖化は、1700年代にすでに始まっています。

そしてこれは、産業革命とは一切関係なく、当然、私たちは、気温を下げる助けはしていません。私た

ちには出来ません。私たちは、本当に宇宙や地球、天気を支配できているのでしょうか？
これもまた、神が人間を非難しておられることで、人が、天気や何かを操作出来ると考えます。私たちは、本当に小さくて、なのに、私たちは巨大な話をしますが、多分、唯一人間が、何か自然災害に貢献したことがあるとすれば、罪ですよ。なぜかと言えば、罪が私たちに洪水をもたらし、洪水によって、地球を覆っていた霧と、地下から湧き出していた水が完全に消滅しましたから。そして、それらの消滅によって、多くのバクテリアや、他のものが出来、私たちの健康に影響を及ぼしました。地球が完全に洪水で覆われた時に起こった事は言うまでもなく、地球が完全に浸水した時、確実にものごとが変わりました。

ところで、太陽活動の増加で、海も、二酸化炭素を排出するようになりました。これは、炭酸を炎天下に置いておくようなもので、どんどん、どんどんガスを排出します。これが、私たちがこんにち、目にしている事です。そしてもちろん、これによってどんどん温暖化し、そのために、嵐や、非常に厳しい気象状態といった、自然災害が起こっているのです。

ただ、もう一つお伝えすると、私たちは、太陽と星が輝きを増すのを見えています。

非常に興味深いのは、バリーが、イザヤ書 30 章 26 節に触れていますが、もちろん終わりの時、大患難の時、こう書かれています。

26 主がその民の傷を包み、その打たれた傷をいやされる日に、月の光は日の光のようになり、日の光は七倍になって、七つの日の光のようになる。

(イザヤ 30:26)

ですから、私たちが今見ているのは、その日に向かっていくということです。

主が戻って来られる日、7年の大患難の終わりの日、イスラエルが救われる日、その日、基本的に、主がその民の傷を包み、その打たれた傷をいやされるのです。イスラエルは、イエスの再臨の時に救われます。そしてご覧の通り、その時太陽の光は 7 倍になって、月の光も増すのです。ですから、私たちは、その行程を目にしているのです。

みなさん、これは人類にはどうしようもないことです。

ところで、この、我々に何かが出来ると考えるトレンドイー、我々に地球の温度を下げられるという考えは、若者の心を掴むために、世界統一政府によって利用されているのです。

そして若者たちの間で、その変化は特定の国ではなく、地球規模で動いて初めて達成できるのだという、世界的なムーブメントを作り出しています。ところで、イスラエルは 3 月中旬に、この若者の世界的なムーブメントに参加します。我々の子どもたちにも通りに出させて、気候変動に対して何かをさせるのです。これは、ものすごい事です。

元々は、人間の罪によって生まれた問題に対して、今は人間がデモをし、それを人間が利用して、罪の人、不法の人の到来を促進しているのです。私は、これを欺きと呼びます。私は、これを完全なる盲目と呼びます。これこそ、幻想の世代です。

見ての通り、罪が、あまりにも多くのダメージをもたらし、そのダメージが、人々に非常に多くの絶望を与え、その絶望のために、人々は不法の人まで選ぶようになるのです。

ですからこれは、激しいサイクルで、最終的には人々がすっかり洗脳されて、すっかり幻想的になり、

すっかり盲目になって、彼が簡単に支配できるようになるまでに発展します。そして、それまでです。ですから、現在、驚くべきことが起こっていて、あなたの中に主の光がない限り、あなたが、神の御言葉を理解しない限り、あなたは、簡単にその罠にかかってしまいます。

ところで、彼らは科学なんて、全く気にしていません。科学は、彼らが間違っていることを証明しています。つまり現在、科学者たちは皆、書面を書いていて、人間には地球温暖化に対して、何も出来ないことを証明するものは、一切出版されません。なぜかと言うと、PC（ポリティカルコレクトのカルト）がそれを認めないからです。

そしてもし、彼がそれを出版するなら、その人は追放されます。私たちに何かが出来ると考えて、何兆という額のお金を費やし、なんとかして温度を下げようとする、流行に逆らう者として、非難されます。皆さん、もし、人間に世界中の気候を変えられると、私たちが考えるなら、私たちは、うぬぼれすぎです。

創世記で、私たちは、天に届いて神に成り代わろうとしましたが、またしても私たちは、私たちに何かを変えることが出来ると考えて自分が神のようにふるまおうとしています。

そして、アメリカの女性議員は、それを変えるための馬鹿げたプログラムや協議を提案しています。彼らは明らかに敵の手先で、さらにどんどん欺きや盲目、完全な混乱を推し進めようとしているのです。それによって仕事を減らし、さらなる貧困を生み出しています。もし彼らの計画が実行されるなら、非常に多くの仕事がなくなりますから。

だからトランプ大統領は、これ以上、気候変動に関するパリ協定には協力しないと決めたのです。なぜなら、彼はその結論を見たのです。我々には、世界の気候を変えられないだけでなく、私は、それによって自国の経済を破壊してしまう。他の国も全て同じだ、と。

人々が完全に洗脳されている様子には、本当に驚きます。そして同時に、彼らは、良いことを^{おこな}行っていると考えているのです。自分たちは、良い行い、立派な行いをしていると。

デモを行なっている若者たちは、非難されるようなこの世の悪を求めているのではないと私は思っています。彼らは、教授や先生、メディアやセレブたちに、説き伏せられているのです。そのために戦い、それを行うのは立派なことだ、と彼らは説き伏せられているのです。彼らは、ハリウッドや、エンターテイメント、メディアによって洗脳されています。彼らは、彼らのこの世的な教育システムによって、洗脳されています。

彼らは読み物によって洗脳されています。彼らは、この世の君によって洗脳されています。

私たちが、いつも御言葉の近くにいないと、私たちは、簡単にこの罠にはまってしまいます。

最後、締めくくる前に、もう一つ言わせてください。

今、信じられないような反ユダヤ主義の出来事が、世界中で増加しています。特に、フランスで現在起こっている事についてお話ししますと、皆さんもご存知の通り、マクロン大統領がフランスを緑化しようと頑張っていて、同時にまた、彼の国の崩壊した経済を癒そうと頑張っています。そこで彼は、ガソリン税やその他を増税すれば、国民がガソリン使用を減らして、国の緑化になると考えました。ところが、彼がした事は、ただ、現行しているデモを引き起こしただけ。事実、現在すでに10週目に入っています。これが暴力的で、ある意味、正当性もあるのですが、暴力は決して正当化されるものではありません。

ただ、皆さんにお伝えしたいのは、敵がこの大衆抵抗のトレンドに乗かって、フランスの全ての問題を、ユダヤ人のせいにするために利用しているのです。もちろんこれは、1930年代半ばにドイツで起こっていたことを彷彿させます。よく考えてみてください。当時ドイツの経済はグラグラで、ナチスは、ユダヤ人のせいになりました。ユダヤ人のイデオロギー、国内でのユダヤ人の財政状況です。彼らは上流階級でした。そこで彼らは思いました。

「私が惨めなのは、お前が成功しているからだ！」

私たちは、フランス国内で反ユダヤ主義的な出来事が75%近く増加していることに、気づきました。フランスで行われているデモの多くを、皆さんもご覧になれますが、そこら中に、カギ十字がスプレーで描かれています。彼らが言っているのは、

「マクロンは…」

私は、あの言葉を使いたくありませんが、ともかく、“ユダヤ人の売春婦”だというようなことを言って、彼らは、ユダヤ人の哲学者やユダヤ人の銀行マンたちを攻撃しています。ところで、明確にしておきますと、多くのユダヤ人の銀行マンや、ユダヤ人哲学者、ユダヤ人たちがマクロンを大統領に仕立てて、彼の政策を享受していると、私も信じています。それは間違いありません。しかし、それはユダヤ人だけではありません。他にもそれをおこな行った者は、たくさんいます。ただ、以前ドイツで起こったように、ユダヤ人に敵対するのは、簡単なのです。1600年代、1700年代には、東ヨーロッパでそれがありませんでした。

そして、ヨーロッパでの反ユダヤ主義の空気は急増していて、第二次世界大戦、ホロコーストと同じ、もしくはほぼ同等と言っていいでしょう。

そして、次のことを覚えていてください。いずれ反キリストは、ユダヤ人の身に、ヒトラーがもたらしたものよりも、はるかにずっと困難で、はるかにずっと恐ろしいホロコーストをもたらしめます。ですから、私たちは世が反キリストの受け入れに向かっているのを目にしているだけでなく、現在起こっている事に対して、ユダヤ人を非難する感覚までもが、——ところで、唯一、この良い面は、ユダヤ人たちがこれらの国々を逃れて、はるばる、彼らが故国と呼び、故郷と感じる場所にやって来ています。今彼らは、イスラエルに逃れて来ています。世界中で、唯一、ユダヤ人の国です。イスラエルは、さらにどんどんユダヤ人が増えていて、彼らは、オーストラリアや、アメリカ、ヨーロッパの反ユダヤ主義的な環境から逃れて来ているのです。最終的に、イスラエルがイスラエルのメシアによって救われるためには、イスラエル人たちは、完全にイスラエルに戻らなければなりません。ですからこれには、良い面と悪い面がありますが、ただ、私は、皆さん全員に思い出して欲しいのです。マタイ25章で、イエスが羊と山羊について語られただけでなく、預言者ヨエルも、3章最初の3節で、主が戻って来られる時のことについて、告げています。このために、ユダヤ人たちは全員、オリーブ山に埋葬されることを望むのです。主はすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下ります。

“ヨシャパテ”の谷というのは、“神の裁き”という意味で、“ヨシャパテ”、“神が裁かれる”です。ですから、彼は、彼らと共に世の諸国の裁きに入られますが、その基準は彼らがイエスを信じたかどうかではなく、彼らが、良い行いをしたかどうか、でもなく、彼らが、気候変動のために集会を開きロビー活動をしたかどうかでもなく、彼はそういった事では人を非難されません。ただ、

「あなたは、わたしの民イスラエルと、わたしの地イスラエルに何をしたか。」

それだけです。ですから、もしあなたが、もう神にとって、イスラエルは重要ではないと思っているな

ら、その考えは捨てた方が良いでしょう。世界は、彼らのイスラエルに対する扱い方によって裁かれるのです。そしてもし、あなたが、本当に聖書を信じているなら、イスラエルに敵対するなんてことは、絶対にあり得ません。土地を分断することに投票するなんて、絶対にあり得ません。反ユダヤ主義になるなど、絶対にあり得ません。

教会が、イスラエルに置き換えられたと考えるなど、絶対にあり得ません。

イスラエルは、もはや、神の民ではないと考えるなど、絶対にあり得ません。

なぜなら、主が、エレミヤ書 31 章を通して言っておられるのです。

唯一、月、星、太陽が消えた時だけ、唯一、その時、

36 イスラエルの子孫も、絶え、いつまでもわたしの前で一つの民をなすことはできない。

(エレミヤ 31:36)

その時までは、イスラエルは神の御前で国であり、世界を試しているのです。そして彼らに触れるものは、誰であれ裁かれる。ものすごくシンプルです。誰も、この方程式の間違った側には付きたくないはず。アブラハムの時代と同じくらいシンプルです。主が彼に言われました。

3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。

(創世記 12:3)

これは、こんにちも、当時と同じくらい真実です。実にシンプルで、実に明確です。ですから、もし、あなたがイスラエルを憎んでいるなら、あなたは、自らを聖霊に満たされ、新生したクリスチャン、聖書を信じるクリスチャンだと言うことは出来ません。神が、まだその民を保っておられることを、あなたに理解できないなら、教会がイスラエルに置き換えられたとあなたが信じているなら、これらのことは絶対に、終わりの時のクリスチャンの、あるべき姿に重なりません。ということで、皆さんに勧告します。どうか、これらのことを覚えていてください。

終わりの時の空気の一部として、私たちが今見ているのは、地球規模の変化の推進だけでなく、世界統一経済、世界統一政府、世界統一宗教の推進だけではありません。私たちが目にした、ローマ法王と、イマームのアフマド・アル・タイーブの合意には、基本的に、イエスのことは全く触れられてもなく、イスラエルの神である主についても一切触れられてもいません。しかし彼らは、すべての道が神につながる、ただ、良い人であれば良いと信じていて、彼らは、イスラムは平和の宗教であり、キリスト教にイエスは必要ない、ただ良い人であれば良いと信じています。



フランシス法王（左）とイマームのアフマド・アル・タイーブ

私たちは、まさに目の前で、世界統一宗教が生まれるのを見ています。

私たちは、まさに目の前で、気候変動の筋書きによって世界統一政府が生まれるのを見ています。私たちは、まさに目の前でそれらを見ています。1月1日以来、イスラエルでは現金の使用が、非常に少額に制限されるようになりました。イスラエルでさえ、マネーロンダリングやテロと戦うために、人々が多額の現金を使うことを禁じているのです。キャッシュレス社会は、世界中で増加しています。

もちろん、2018年12月末の時点で、世界中で人々がチップの埋め込みをしています。

神はご存知ですが、次はチップが極小化されて、タトゥーで埋め込めるようになるでしょう。そして、タトゥーが次の支払いの手段になるでしょう。もう、分かりません。ただ私に分かるのは、それらが急速に進む様子に、私はものすごく驚いています。そして、このような時代に自分が生きていることに、ものすごく驚いています。そして私がいつも言うのは、「滅びない世代」をメッセージするときにはいつも、私は、大きな確信を持って伝えています。なぜなら、イスラエルが故国に戻っただけでなく、ユダヤ人が戻り、ヘブル語が戻っただけでなく、土地は再び咲き乱れています。ところで、国土は咲き乱れていますよ。インスタグラムやツイッターで、私の投稿を見てください。青々としていて、緑がいっぱい、花が咲き乱れている様子に感動しますよ。

しかし私たちはイスラエルが戻ったのを見ていただけでなく、世界の動きは、もうクライマックスに来ているようで、神を押しつけ、世にある他の全てを崇拜しています。

私達は、この時代に生きて、これらのことを見ています。

聖書は、ヘブル人への手紙10章で、告げています。

24 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。

25 ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで…

(ヘブル 10:24~25a)

私たちは、人の成功を喜ばなければなりません。私たちは分断でなく、一致のために貢献しなければなりません。しかし同時に、聖書は告げています。

23 しっかりと希望を告白しようではありませんか。

(ヘブル 10:23)

希望とは、もちろん、キリストが花嫁を迎えに来られることであり、そして

25 …かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

(ヘブル 10:25)

「かの日が近づいているのを“見て”」です。私たちは、創造以来初めてこれを見ています。感じてではなく、祈っているのでもなく、望んでいるのでもなく、私達は、かの日が近づいているのを、見ています。

ところで、私の次の本が、順調に行けば9月に出版されますが、タイトルは、「The Day Approaching/ かの日が近づいている」私たちは、かの日が近づいているのを見ています。これを理解することは、非常に重要です。私たちがこれに気づくことは、非常に重要です。神は、この時代に生きる特権を私たちに

与えてくださったのです。多く与えられた者は、多くを求められます。

私たちの世代は、もっと祈りを実践しなければならないと私は信じています。

私たちの世代は、もっと集まって礼拝することを実践しなければならないと私は信じています。私たちは、これまでにないほどに、御父の^{みちち}仕事に^{いそし}勤んで、御言葉を宣べ伝えなければならぬと信じています。

人々に警告を与えなければなりません。またできる限り、互いに攻撃し合うのではなく、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合わなければなりません。そのために、私たちは今、ここにいるのです。私たちは、これらの全てを忘れてはなりません。

皆さん、5月のカナダでのカンファレンスは、登録の受付を開始しています。

私は、カナダでのカンファレンスの前に、ワシントンDCにお招きいただいています、政治家たちもいる非常にフォーマルな席で、イスラエルについてメッセージをさせていただきます。ですので、どうかお祈りいただければと思います。

また、4月上旬には香港に行って、さらに、ルーマニアの全土を訪れてメッセージします。異なる6つの都市で、何千人もの人々が、御言葉を聞きに集まります。それからまた、インドネシアにもご招待いただいています、最大のイスラム国家でメッセージをさせていただきます。それから、オーストラリアでも、もう一つ、カンファレンスが加わりました。

7月21日に、パースで大きなカンファレンスを行い、それから、7月28日にメルボルンで、もう一つ大きなカンファレンスを行います。それからニュージーランドに移動して、オークランドで、大きなカンファレンスを行います。

この終わりの時に、神がされていることを見て、私は、ただただ感動しています。

人々の心が開かれ、人々の人生が変えられています。ですから、皆さん、どうかお祈りください。

繰り返しますが、カナダ在住で、カンファレンスに参加ご希望の方は、ウェブサイトより、ご登録ください。まだ2月ですが、もうすでに1万2千人近くの登録がありました。

座席数は限られていて、確か3万5千席だったと思います。ですから、ギリギリまで待たず、今、チケットを予約して、座席を確保してください。そのために、カナダでオンライン登録を受け付けていますから。それから、その次の週末、デンバーでも大きなカンファレンスを行います。私が正しければ、5月18日だったと思います。詳細がそろい次第、全てウェブサイトにアップします。

皆さん、ありがとうございます。ユーチューブで、私をフォローしてください。「Behold Israel/ ビホールド イスラエル」フェイスブック「Behold Israel」インスタグラムは、「BeholdIsrael」ツイッターも、「Behold Israel」中東から絶えずニュースが届きますから、皆さん、祝福されるはずですよ。皆さんの、中東の現地特派員です。

ありがとうございます。では、皆さん全員にアロンの祝福をもって、締めくくりたいと思います。

ヴェイシエメレハー וְיִשְׁמְרֶךָ ..(主が)あなたを守られますように	アドナーイ יְהוָה 主が	イェヴァーレフハー יְבַרְכֶךָ あなたを祝福し
--	-----------------------	------------------------------------

ヴィーフネッカー וְיִחַנֶּךָ ..(主が)あなたを恵まれますように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנֶיךָ 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	ヤーエール יָאֵר 照らし
---	--------------------------------	--------------------------	-----------------------	-----------------------

シャーローム שְׁלוֹמֶךָ 平安を	レハー לְךָ あなたに	ヴェヤーセーム וְיִשֶׁם (主が)賜るように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנֶיךָ 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	イッサー יִשָּׂא 上げて
-----------------------------	---------------------	----------------------------------	--------------------------------	--------------------------	-----------------------	------------------------

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

確かにこの世はめちゃくちゃです。しかし私たちには、理解をはるかに超える平安があります。唯一、平和の君から来る平安、彼が、あなたにその平安を、今も、とこしえまでも、ここでも、どこにいても、与えてくださいます。

その全てがあなたのものになりますように。イエスの御名によって、祈ります。アーメン
 アーメン。ありがとうございます。God bless you! シャローム！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ワルシャワで開かれたアメリカ主催の国際会議 : Vox “The US held a global summit to isolate Iran. America isolated itself instead.” Feb 15, 2019

ロウハニ、プーチン、エルドアン : Daily Mail “Putin, Erdogan and Iran’s Rouhani celebrate Trump’s withdrawal from Syria as they meet in Sochi to decide the future of the war-torn nation” 14 February 2019

アミールさんのご長男アリエルさん : 動画より

イギリス全土での生徒たちの気候変動政策のためのデモ : You Tube AFP news agency “UK students march for climate change awareness” 2019/2/15

フランス法王とイマームのアフマド・アル・タイーブ : Pope signs pact with Islam declaring ‘diversity of religions’ is ‘willed by God’ February 11, 2019